

あんしんダイヤル

消防広報

NO. 28

119

京都中部しょうぼう

編集・発行／京都中部広域消防組合
〒621-0851 亀岡市荒塚町1丁目9番1号
TEL 0771-22-9581 FAX 0771-23-4535

平成20年5月1日発行

災害出動状況(平成19年10月1日～平成20年3月31日)
火災 40件・救急 2,671件・救助 38件・その他 135件

京都中部広域消防組合スローガン

守ろう地域をみんなの力で 安全・安心のまちづくりを消防から



わたしの声が聞こえますか？

子どもたちが火事を発見し、「火事だ！」と叫んで、周囲の人に危険を知らせる訓練を実施しました。私たちは、そんな声がまちに響かない安全・安心な社会が続くことを願っています。

このように保育園、幼稚園等では、火災などの災害で子どもたちが犠牲にならないための指導に取り組まれています。

写真上：園児による「大声コンテスト」

写真右：保護者の方々による初期消火訓練

【南丹市立八木中央幼児学園】



京都中部広域消防組合のホームページを開設しました



トップページの内容を紹介します

●住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の疑問点をQ&Aにより解説しています。

●救急病院

救急病院等の診察情報が医療機関ごとに閲覧できるようにしています。また、医療機関関連リンクには、診察を希望する科目ごとに病院を紹介する「京都府救急医療情報システム」を掲載しています。

●安心・安全情報

生活の中の安心・安全に関する情報を紹介しています。

- ◆住宅火災警報器Q&Aにリンクします。
- ◆119番通報のしくみ、通報の要領を紹介しています。
- ◆消火器の使い方、種類・設置場所、悪質訪問販売、日常点検、廃棄方法を紹介します。
- ◆防災対策に関する注意点を紹介します。
- ◆救急病院にリンクします。
- ◆AEDの特徴・使い方、人工呼吸と胸骨圧迫の方法等を紹介します。
- ◆山岳救助隊の発足を紹介します。
- ◆気象情報などを紹介します。

●ふれあいコーナー

いろんな消防自動車や消防職員の服装を紹介しています。また、消防広報誌「あんしんダイヤル119」のバックナンバーを紹介しています。

●講習会・試験情報

普通救命講習会、防災・防火訓練、防火管理講習、危険物取扱者・消防設備士試験の情報を掲載しています。

●条例・規則・広告

京都中部広域消防組合火災予防条例、平成19年火災・救急・救助統計などを掲載しています。

●リンク集

亀岡市・南丹市・京丹波町・京都府・京都府南丹保健所・総務省消防庁・気象庁・京都府医療情報センターなどにリンクします。

ホームページアドレス

<http://www.kyoto-chubu119.jp/>

●消防組合紹介

消防組合が管轄する地域の位置、地勢、特性や消防本部の沿革、組織図、配置などをイラストや写真で紹介しています。

●災害出動状況

火災件数や救急車出動件数などを紹介しています。

●お問合せ先

消防組合のお問合せ先（郵便番号、所在地、電話番号、ファックス番号、e-mail）を紹介しています。

◇消防組合（会計課）

◇消防本部（総務課・消防課・消防指令室）

◇亀岡消防署（予防課庶務係・予防課予防係・警防課・東分署）

◇園部消防署（予防課・警防課・八木出張所・日吉出張所・美山出張所・丹波出張所）

トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス とびっくす トピックス

平成20年度一般会計予算の概要

「安心して暮らせる災害に強いまちづくり」を目指して

平成20年度一般会計予算の総額は、18億4,102万1千円で、前年度に比べ2,767万円（1.5%）の減少となっています。

歳入のうち、各市町からの負担金が17億4,148万2千円で、全体の94.6%を占めており、歳出は人件費、物件費及び公債費の義務的経費が89.0%を占め、普通建設事業費及び積立金等が11.0%となっています。

活力ある職場づくりの推進

○新しい時代を担う人づくり

救急救命士の養成
各種資格取得・実務研修等

○職場環境の整備

庁舎外壁等の改修
消防組合例規集のデータ整備

○健康管理体制の充実

職員健康診断等の実施

地域の消防対応能力の強化

○各種催物の開催と関連機器の整備

移動消防署・防災PRコーナーの開催
住宅防火診断等の開催
普通救命講習・催物用資機材の整備

○住民の防火防災意識の高揚

防火啓発ポスター・懸垂幕等の作成
防火及び救急パンフレットの作成
消防広報誌・消防冊子の作成

消防防災体制の充実強化

○消防施設等の整備

消防ポンプ自動車の更新

○救急救助体制の充実

高度救急処置訓練人形の整備
救助・救急資機材の整備

AEDを使用した救命リレー

2月某日、亀岡市内の事業所で会議中の60歳の男性が突然に意識を失い、呼吸や心臓が停止しましたが、居合わせた同僚が直ちにAEDの手配と119番通報を指示しました。その後、心肺蘇生法を実施しながらAEDによる電気ショックを実施した結果、救急隊が現場到着した時には、呼吸、脈拍が再開し、一命を取り留めることができました。



バケツリレーによる初期消火

3月5日に京丹波町で発生した建物火災では、防犯推進員の榎川勝夫さんと藤田辰夫さんが民家2階の窓が赤くなっているのに気付いて、付近の方々と協力してバケツリレーを実施されました。そこで、この火災による被害を最小限に止めていただいた功勞に対し、園部消防署長から感謝状を贈呈しました。



フォトレポート PHOTOREPORT

地域住民を対象とした防火・防災活動の一部を紹介します。

自主防災活動や普通救命講習会、また事業所における訓練など、さまざまな事業に取り組みました。

10月

10月は、各市町で開催された秋のイベントに移動消防署を開設したほか、AEDを用いた普通救命講習会などの事業を開催しました。



応急処置訓練

福祉探検隊が応急手当の方法を学びました。(和知ふれあいセンター)



救急コーナー

AEDの使用方法などを見学されました。(ひよし‘水の杜’フェスタ2007ほか)

11月

11月は、全国一斉に秋季火災予防運動が展開され、訓練や防火座談会を実施したほか、各中学生が消防署の業務等を学ぶ職場体験学習に訪れました。



避難訓練

歩行困難な重症患者を屋外の安全な場所まで搬送されました。(南丹病院ほか)



移動消防署

避難訓練の後は、憧れの消防士に変身しました。(篠村幼稚園ほか)



←避難訓練

園庭で遊戯中に地震が発生し、園児と先生と一緒に避難されました。(上豊田保育所下山分園ほか)

→中学生職場体験学習

消防の基本である規律訓練で「敬礼」の方法などを学びました。(亀岡中学校ほか)



12月

12月は、消火訓練指導、普通救命講習会などの事業を開催したほか、年末防火運動を展開しました。



消火訓練

落ち着いて消火する方法などを体験されました。(亀岡市篠町みどりヶ丘自治会ほか)



移動消防署

家庭で起こる事故を想定し、救急隊の模擬活動を見学されました。(亀岡市東つつじヶ丘友の会ほか)

1月

1月は、各市町で消防出初式、防災とボランティアの日、文化財防火デーなどの事業を展開しました。



消防出初式

幼年消防クラブ員が市中行進に参加されました。(亀岡市ほか)



消防訓練

消防団員と地域住民も消火活動に参加しました。(京丹波町下山「大福光寺」ほか)

2月

2月は、普通救命講習会、JR電車人身事故訓練を実施したほか、各小学校の3年生が社会科の授業で消防庁舎や消防車両等の見学に訪れました。



←人身事故想定訓練(JR園部駅構内)消防、警察、JRが連携の強化を図りました。

→消防指令室を見学

119番通報から消防自動車などが出動する仕組みを学びました。(吉川小学校ほか)



春季火災予防運動の事業として

←一日消防士(園部消防署)

南丹市と京丹波町のCATVのアナウンサーが消防隊員の活動を体験されました。

→一日消防署長(亀岡消防署)

WHOセーフコミュニティのボウ・ヘンリクソン博士が署長として、火災予防をPRされました。



3月

3月は、全国一斉に春季火災予防運動が展開され、消防訓練や移動消防署を実施したほか、高齢者一人暮らし宅へ防火訪問しました。



←消火訓練

初期消火の方法を体験されました。(京阪京都交通㈱亀岡営業所ほか)

→高齢者一人暮らし宅防火訪問

家庭内に潜む火事の原因などを聞いてもらいました。(南丹市美山町ほか)



平成20年度全国統一防火標語

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

◇最近、たばこが原因で火災が続発しています。たばこの投げ捨てはやめましょう◇

日本損害保険協会からの寄贈により高規格救急自動車を更新



京都中部広域消防組合の佐々木稔納副管理者（南丹市長）が目録をいただきました。



京都中部広域消防組合の芦田俊孝消防長が記念のキーをいただきました。



ガソリンエンジン
総排気量2,693cc
フルタイム4WD・4速AT
全長 5.640m
全幅 1.895m
全高 2.580m

園部消防署では、平成9年11月から救急救命士が乗車する高規格救急自動車を運用していますが、平成20年2月13日に「日本損害保険協会」から最新の高規格救急自動車を寄贈いただき、更新しました。

この高規格救急自動車は、従来の車両より内部の患者室内を大きくして、多くの医療資器材を積載し、救急隊員の活動にゆとりのあるスペースとなっています。また、大型の赤色灯（LED式）が装着され、鮮やかな光で視認性を高めています。

今後は、大切な生命を守るために昼夜を問わず、救急隊員とともに活躍します。

平成19年度新規採用職員を紹介します

約1年間の研修を終え、各署に配属になりました。私たちは、情熱と勇気をもって、災害に立ち向かいます。



岩崎 香織

初心を忘れることなく、日々の業務に全力で取り組みます。



中井 亮介

常に謙虚な気持ちを忘れることなく、日々の自己研鑽に励みます。



中井 英貴

皆さんが安心して生活できるよう所懸命頑張ります。



樋口 新祐

皆さんの安全・安心のため、熱く優しい心をもって、日々の業務に努めます。



明田 拓也

初心を忘れず、地域の皆様に信頼と安心を与えられる消防士を目指します。

更新した車両を紹介します

園部消防署
消防ポンプ自動車



亀岡消防署
高規格救急自動車



救急隊員の服装は？

最近、見かける救急隊員のライトブルーの上着は、感染防止のために着用しているもので、次のような工夫がされています。

- 感染防止の向上
- 撥水性の向上
- ウィルスバリア性の向上
- 撥アルコール性の向上



防火防災に関することなら何でもご相談ください

消防組合	会計課	22-9580	消防課	22-9581	消防指令室	22-9582
消防本部	総務課	22-9580	予防課（予防）	22-9583	警防課	22-9584
亀岡消防署	予防課（庶務）	22-0119	八木出張所	42-3119	日吉出張所	74-0119
	東分署	23-0119	丹波出張所	82-0119		
園部消防署	予防課・警防課	62-0119				
	美山出張所	75-0119				